

## 駒澤大学附属岩見沢高等学校の生徒募集停止のお知らせ

駒澤大学附属岩見沢高等学校は、平成23年度の生徒募集を最終とし、その後の生徒募集を停止することといたしました。

附属岩見沢高等学校は、地元岩見沢市と北海道における曹洞宗宗門関係者の篤い支援のもとに設立され、昭和39年4月に410人の第1回入学生を迎えました。その後、国のエネルギー政策の転換に伴う空知地区の炭鉱閉山により、人口が大幅に流出し、入学者の急激な減少に見舞われるなど危機的な状況を経験しながらも、46年の長きにわたり空知地区における唯一の私立高等学校として、この地における高校教育の一翼を担ってまいりました。現在まで、本校が送り出した卒業生は、8,400人を超えております。

しかしながら、このところの地域中学校卒業生の長期にわたる減少は、炭鉱閉山時の経験をはるかに超えており、生徒募集に深刻な影響をもたらしています。本校といたしましては、入学者の確保につき様々な施策を講じてまいりましたが、入学者の減少を止めるには至りませんでした。加えて、築46年になる校舎の老朽化が進んでおり、大規模な改修を施しても目指す教育の実現には十分でなく、現有施設の継続的使用は困難になっています。平成26年度には開校50周年を迎えることもあり、校舎の建替えを検討してまいりましたが、今後のさらなる地域中学校の卒業生の減少、それに伴う入学者の減少を予想いたしますと、将来にわたり安定した教育活動を継続することは著しく困難であると判断せざるをえません。

教育活動につきましては、在校生はもちろん、平成23年度入学生が卒業するまで、課外活動および卒業後の進路（進学・就職）の支援を含め、これまで通り万全を期して臨んでまいります。在校生・保護者・卒業生・宗門関係者、北海道および岩見沢市を含む空知地区並びに学校関係者の皆様には、これまでのご厚情に心から御礼を申し上げますとともに、このような決定に至りましたことを深くお詫び申し上げます。

関係者の皆様には、生徒募集停止に至った事情をご賢察いただき、ご理解を賜りたく切にお願い申し上げます。

なお、学校法人駒澤大学といたしましては、苫小牧市にある附属苫小牧高等学校において、北海道における駒澤大学の附属校教育の責務を今後とも担ってまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成22年10月8日

学校法人駒澤大学 理事長 佐々木 孝一  
駒澤大学附属岩見沢高等学校 校長 大津 百年